



2012年1月・2月勉強会です！



1・2月：排泄ケア「尊厳のケア以前」を考える

—「尿路管理」を「安全管理」の面から考えてみたら—

排泄障害は、単に身体的な「健康障害」であるだけでなく、家族との関係、社会との関係、心理的な活力等々、人間が生きていくのに重要となるさまざまなことに対して多大な影響が出てきます。それにも関わらず、なかなかオープンにしづらい側面もあり、これらを考慮してケアすることが必須です。これが「排泄ケアは尊厳のケア」と言われる所以です。皆さんは日ごろこの点に留意して倫理的な配慮などにつとめられていることと思います。

しかし、一方では「排泄機能」は身体活動維持の基本。特に排尿機能を評価することは、単に膀胱・尿道の機能や、一連の排尿動作を行うための認知や運動の機能を考えるのと同時に、体のなかで心臓や腎臓といった循環に関わる機能に不具合がないかどうか？を考えることでもあります。これを見逃せば、生命の危機。もはや尊厳どころではありません。

今年はまずリスク・マネジメントの観点から「排尿管理」について考えてみましょう。

- ・ 会員は勉強会参加に関しては、何度の受講においても無料です。
- ・ 非会員の方でも 1000 円で聴講が可能です（事前申込不要）。

